

第6章 子育てを支援する生活環境の整備

1 良好な住宅環境の整備の推進

<現状と課題>

子育て家庭の住宅に対するニーズは多様化していて、公営住宅における母子世帯の優先入居や広い部屋づくりなど、住宅面での配慮が求められています。

市では、高齢者向けの手すりやスロープが整備された矢神住宅団地16戸を含めた414戸（18団地）の市営住宅を整備しています。しかし、老朽化し建替えの時期となっている住宅も多くなっています。

宅地については、グリーンヒル戸花住宅団地（61区画）が整備され、55区画の供給が行われています。

今後、老朽住宅の維持・管理が大きな課題であり、優良で低廉な住宅供給や街並み景観の向上、高齢者、障害者仕様住宅の普及などが課題となっています。

市営住宅の状況（平成21年3月31日現在）

単位：世帯、人

住宅名	世帯数	世帯人員	うち未成年者
堀野上東	14	24	2
堀野東側	19	44	9
松ノ木田	17	30	5
米沢	11	21	3
金田一上平	33	61	7
大川原毛	29	58	9
横手	26	49	10
横手第二	46	127	44
長嶺	34	95	33
矢神	93	252	90
上町	10	17	2
駒ヶ嶺	2	2	0
滝見	11	19	1
田屋	11	19	2
寺ノ下	7	16	6
糠塚	10	20	5
特定公共賃貸住宅	14	44	16

定住促進住宅	12	33	14
合 計	399	931	258

資料：都市計画課

<施策の目標>

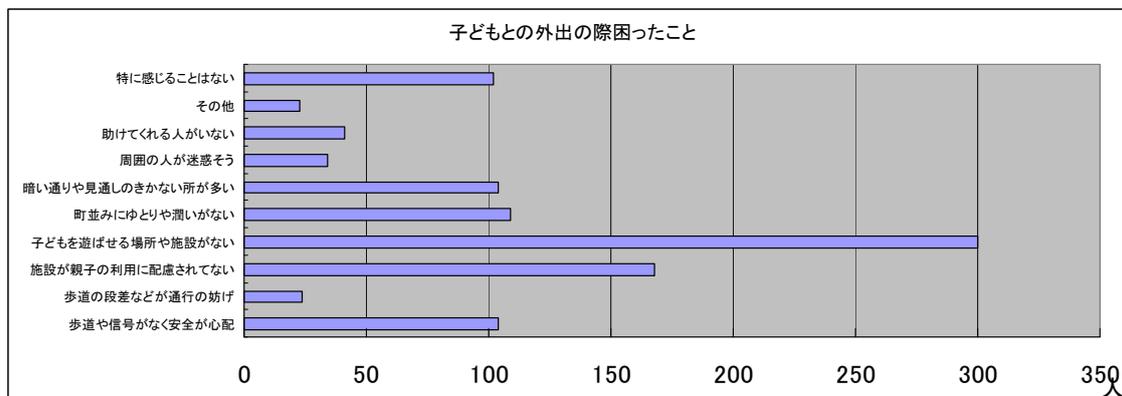
施 策 の 方 向	施 策 の 内 容
子育て家庭に配慮した住宅の提供体制の整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 住環境の整備の促進 居住者が住みやすいと実感できるユニバーサルデザインによる住環境の促進を図ります。 ◆ 優良な住宅の供給 中堅所得者、U J I ターン者を対象とした特定優良賃貸住宅の提供や、高齢者・障害者世帯向けの市営住宅など、現行制度上活用できる部分も視野に入れ管理運営も含めた整備計画を作成して施策の推進を図ります。 ◆ 良質な住宅環境の確保 化学物質は、様々な用途で使用されていますが、室内空気環境の安全性を確保する観点から、シックハウス対策に関する相談・指導に努めます。また、化学物質に対する啓発活動及び国、県からの一般住宅に係る助成制度等の情報提供に努めます。

2 子育てにやさしい環境の整備

<現状と課題>

高齢者・障害者・妊産婦・子ども連れの家族が安心して外出できるまちづくりを目指しています。アンケート調査結果によると、「子どもを遊ばせる場所や施設がない」・「施設が親子利用に配慮されていない」など、施設に関する要望割合が高くなっています。今後も、妊産婦や子育て家庭を含むすべての地域の人が、道路、公的建築物等の段差の解消等、快適で安心して生活できる「ひとにやさしいまちづくり」を推進します。

子どもとの外出の際困ったこと



資料：ニーズ調査

<施策の目標>

施策の方向	施策の内容
子育てにやさしい公共施設の整備の推進	公共施設が子ども連れでも利用しやすいように、託児コーナー・授乳スペース等の設置・整備を推進します。
安心して外出できる環境の整備	従来のもちづくりは都市機能の高度利用を図るものが多く入口や階段、トイレなど子どもや子育て家庭には利用しにくい状況にありました。公共施設の改修を重点的に進めてきましたが、現在においても未だ整備されていない施設もあることから、その推進に努めます。

3 安心して遊び生活できる環境の整備

<現状と課題>

市内には16ヶ所の公園等があり、子どもを遊ばせる場所として公園が利用されていますが、公園などの遊び場は子どもが単に遊ぶだけではなく、安らぎの場、憩いの場・世代間のふれあいの場など人間関係がつけられる情緒の発達を促進させます。

また、公園は地域のふれあいの拠点、あるいは市民の健康づくり・スポーツの場として生活に密着した施設であり、潤いや豊かさを感じることができる緑地空間の整備がますます重要になっています。

そのため、親子が気持ちよく利用できるような公園の環境づくりを、市民とともに推進していく必要があります。

<施策の目標>

施 策 の 方 向	施 策 の 内 容
公園の遊具管理の充実	子どもたちが安心して遊べるよう、遊具等の定期的な点検、補修等を行ないます。
公園の安全対策の充実	子どもたちが事故や犯罪に巻き込まれないための安全施設・防犯対策の充実を図ります。また、子どもたち等が快適に利用できるようバリアフリー化を進めます。